

新上五島初の焼酎完成

「まろやか」「とても甘い」 試飲会で評判上々

来月発売



10月から販売する焼酎「五島灘」を手にする 田本喜美代社長

新上五島町有川郷の五島灘酒造(田本喜美代社長)は二十六日、同町で初めて酒造免許を取って生産した芋焼酎「五島灘」の試飲会を開いた。「まろやかで女性に好まれる」

「五島灘」は一本七百二十リットルで千四百九十一円。二千五百本を生産し、来年四月にはイモの香りを強めるなどした別の銘柄の発売も予定している。

田本社長は「五島灘」の思い出に涙を浮かべながら「技術の習得に務め、よりよい製品を追求します」と語った。

長崎

WIDE

エリアセンター
長崎市住吉
中央佐浦
中稲大戸
町八坂町

845-4590
823-7178
862-8504
823-7178
822-9281
822-9281

新上五島 芋焼酎「五島灘」が完成



本格芋焼酎「五島灘」

新規参入の酒造会社

国は二〇〇六年一月は福岡など六県を除く▽原料のコメカムギ、四十一都道府県。同社サツマイモ、ソバの生産地がある市町村▽年間製造量が百キリ以内などを条件に新規参入を許可。対象は張り作業をしている。

新たな特産品へ

【上五島】国の規制緩和で新規参入した「五島灘酒造」(新上五島町、田本喜美代社長)が本格芋焼酎「五島灘」の十月一日発売に向けて製造を進めている。町内の飲食店で二十八日、発表会と試飲会があり、関係者約五十人が新たな「特産品」の誕生を祝った。

「五島灘」の特長は口当たりが優しく、さっぱりとして香りほさわやかという。一本七百二十リットル入り千四百九十一円。原液で二キリ分に相当する約二千五百本を、主に長崎県酒販(長崎市)を通じて酒店などで扱ってもらい、残りも熟成させて来春販売する。

発表会で田本社長は「立派な焼酎を送り出す」

試飲会で誕生祝う

井上町長は「最高の焼酎だ」と広めてほしい」と祝辞を述べた。出席者ら出席者は、五島灘の試飲を楽しんだ。

県によると、〇七年産サツマイモの本県の収量は全国九位の八千五百四十ト。新上五島町が県内二位の千六百七十八トを占める。問い合わせは五島灘酒造(電09659・42・0002)。



新たな特産品「五島灘」の誕生を乾杯して祝う 出席者 = 新上五島町有川郷

ふるさと経済